

まち歩き

千年の都・京都も歴史を振り返れば大きな天災や火災に見舞われてきました。けっして災害と無縁だったわけではありません。京都を襲った災害の歴史を知ることが、今後起こりうる災害に備える知恵を養うことでもあります。

災害の歴史からみた京都の姿を、研究者が解説します。

京都の災害をめぐる

日時 5月18日(土)・19日(日)

いずれも13時出発、17時ごろ解散
小雨決行

1日だけや途中までの参加も歓迎

解説者 加納靖之 (東京大学地震研究所/地震火山史料連携研究機構 准教授)
大邑潤三 (東京大学地震研究所特任研究員)

参加費：無料

行程(予定)

当日の様子はSNSで随時アップします。(ハッシュタグ：#京都の災害をめぐる)

18日

13:00出発

出町柳～御所～寺町～鴨川
～三条大橋

文政の京都大地震(1830年)や天明の京都大火(1788年)で被害を受けた御所・寺町の寺社を訪ねます。また御土居や地域の防火用水など、京都の防災の知恵にも迫ります。

集合：叡山電鉄出町柳駅改札前

19日

13:00出発

三条大橋～白川～知恩院～
団栗橋～五条大橋～方広寺

天明の大火の出火元など、江戸時代の災害に関係する場所だけでなく、昭和10年の鴨川洪水などでも被害を受けた鴨川・東山界隈のスポットや、自然に対する京都人の信仰を物語る社にも立ち寄ります。

集合：三条大橋東詰高山彦九郎像前

申し込み方法

お名前(グループの場合は代表者のみで結構です)、ご連絡先(メールアドレスまたは電話番号)、参加希望日、参加人数を小さ子社にご連絡下さい。webからもお申し込みいただけます。

メール info@chiisago.jp

Twitter @chiisagosha

Tel 075-708-6834

Fax 075-708-6839

web申し込み



<http://www.chiisago.jp/kyoto-saigai/>

● このまち歩きでは、9月刊行予定の書籍『京都の災害をめぐる』に掲載する写真を撮影します。参加者の方が撮影した写真も、ご提供してくだされば編集部で審査の上、掲載いたします。

採用者には、書籍にお名前を掲載し、書籍をプレゼントします。応募先など詳細は、まち歩き時に案内を配布します。

- お申し込みなしで参加いただくこともできますが、人数が多い場合はお断りすることがあります。できるだけお申し込み下さい。
- 行程・集合場所などは変更する場合があります。変更の場合は、申込者には直接お知らせし、web・SNSなどで告知します。

※お申し込みいただいた個人情報は、本イベントに関する連絡にのみ使用し、同意なくそのほかの目的のために使用しません。

※まち歩き中の万一の怪我・事故・病気について、主催者は一切責任を負いませんので、各自の責任において十分注意してご参加ください。

※歩きやすい服装・靴で参加してください。

※飲み物、日よけなどは各自でご用意ください。

2019年9月下旬刊行

『京都の災害をめぐる』

橋本学(京都大学防災研究所所長)監修

加納靖之(東京大学地震研究所/地震火山史料連携研究機構 准教授)・

大邑潤三(東京大学地震研究所特任研究員)著

2019年9月下旬刊行 本体価格1,600円(税別)

A5判・オールカラー・128頁 小さ子社刊行